

冬こそ



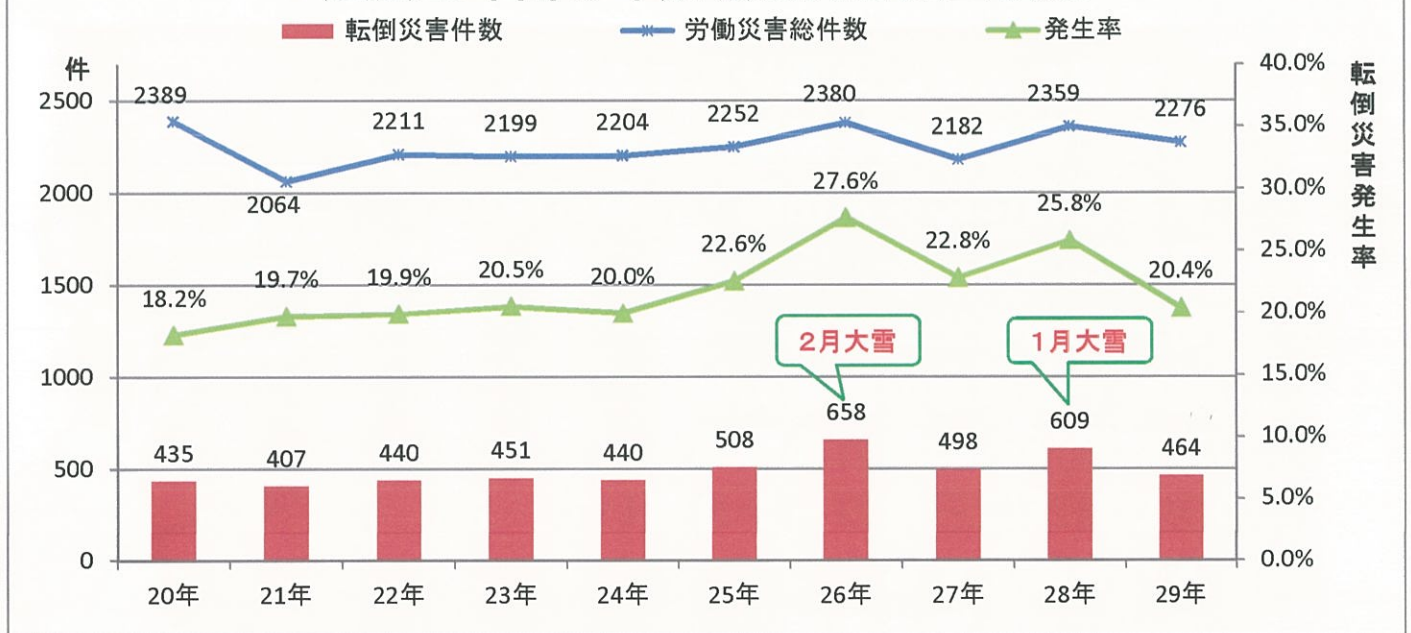
STOP! 転倒災害

転倒災害は、どのような職場でも発生する可能性があります。
職場での転倒の危険性は、働くすべての人が問題意識を持って原因を見つけ、対策をとることで減らすことができます。

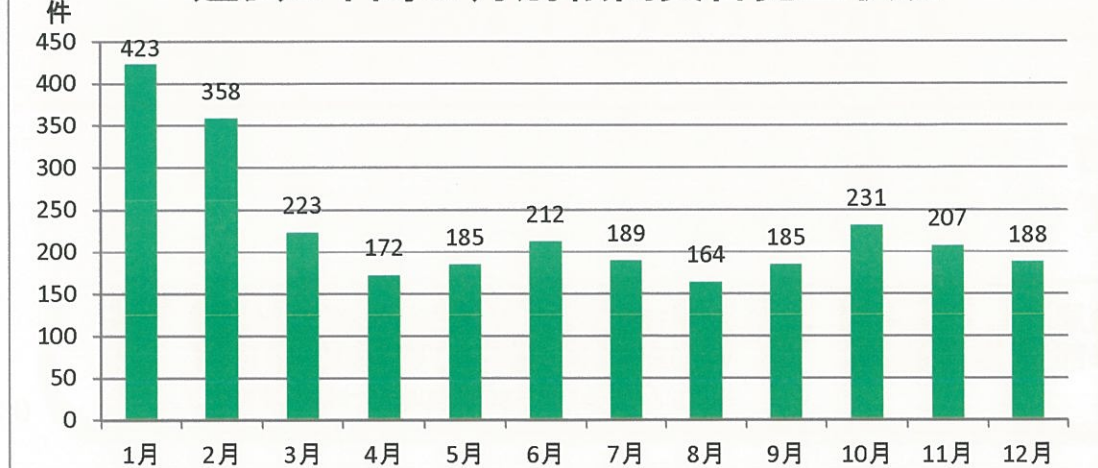
転倒災害防止対策により安心して作業が行えるようになり、作業効率が上がります。

できるところから少しずつ取り組んでいきましょう!!

過去10年間の年別転倒災害発生状況



過去5年間の月別転倒災害発生状況



STOP! 転倒災害プロジェクト

群馬労働局では、転倒災害が占める割合が 20%以上の高率で推移していることから、『STOP! 転倒災害プロジェクト』を推進し、転倒災害が多発傾向にある 1 月から 3 月までと 6 月を「転倒災害防止強調期間」として取組を強化しています。

【冬季は転倒災害が多発しています】

過去 5 年間の月別の災害発生状況を見ると、1 月と 2 月に多く発生しています。これは、冬季は積雪や凍結による転倒リスクが高まるとともに、寒さや重ね着などによって身体自由度が低下していることなどが影響しています。

冬季転倒災害防止のポイント

1. 気象情報の活用によるリスクの低減
 - 大雪、低温情報を迅速に把握、周知
 - 気象情報に応じた出張・作業計画の見直し
2. 除雪・凍結防止の徹底
 - 通路や駐車場の除雪の徹底
 - 凍結場所への塩カル散布
 - 凍結場所に三角コーンを置いて、立入りを禁止する
 - 滑りにくい靴の着用
3. その他
 - 照度の確保（早い夕暮れへの対応）
 - 「危険マップ」の作成・周知
 - 歩き方、ポケットハンド禁止の教育実施
 - あわてず、時間に余裕をもった行動計画を立てる

